

健康づくりを応援 介護予防事業の定員を増やす



地域要望を伝えることによって区の考えを正しました。

平成29年度「らくらくトレーニング」から、平成30年度「続けるつながるトレーニング」への担当部署が変わりました。定員制となり、参加者からは不満の声が寄せられました。回数も全24回自由参加から全10回にスケールダウン。介護保険にお世話にならずに健康でいようと努力している方々が参加されていた事業です。

突然抜き打ちで現場に伺い、一緒に参加をしました。インストラクターの方が軽妙な語りを交えながら、笑顔で楽しく身体のストレッチ、頭の体操を指導していました。参加者にとって充実した時間になっていることが良くわかりました。状況を板橋区に伝え、現場で起こっている不作為を指摘し、本来意図する事業効果が図れるように定員を増やすことができました。

AIP(エイジングインプレイス)はそんなにあまくありません。行政のヴィジョンを押し付けるだけでは叶いません。健康的な生活を送ってもらうために、行政はしっかり対話をしなければならない。そのことを担当部署には伝えました。